

# 雪洞

糸魚川勤労者山岳会

会長 青木 満 磨

TEL 025-552-9901



(2134)No.84 発行 2020年1月16日



## 山行記

★山域・山名＝山梨・王岳 1623m、釈迦ヶ岳 1641m

★山行日＝2020年1月11-12日（土日）

★天 候＝一日目/快晴☀、二日目/曇り

★山行者＝加藤、渡辺光、内山、太田、大瀬、渡辺久、渡辺悦

\*一日目＝1/11（土）快晴・・・西湖・根場 900m～王岳 1623m 往復

▼タイム＝根場登山口 10:30…林道終端  
11:20…稜線 12:30…12:55 王岳 13:35…  
稜線下降点 13:55…林道終端 14:40…15:25  
根場登山口

▼西湖・根場の登山者用駐車場に車を入れる。  
現地は冬晴れの快晴。空気はヒンヤリしている  
が寒くはない。南側に富士山が大きく見える。  
王岳方面を見上げると稜線は霧氷で真っ白に  
なっている。準備をして林道歩きからスタート。  
▼水の枯れた西入川沿いに林道があり、舗装さ  
れている所もあったが、未舗装のところは落石  
が多くて石ゴロで歩きにくい。大きな堰堤がい  
くつも作られていた。時々振り返ると樹林越し  
に富士山が見えている。林道終端から本格的な  
登りが始まる。

▼この先は尾根状の道となり、岩場あり、急登  
あり、ザレ場ありでゆっくりと慎重に高度を上  
げる。つらい登りが続き、呼  
吸を整えながら足を前に出  
す。周囲はアカマツ、カラマ  
ツや雑木林となっていて視  
界は効かない。頭の上を見上  
げると青空が広がっていて  
気持ちが良い。

▼急登が終わり、斜面を大き  
なジグザグを何回も繰り返  
して尾根に上がる。腰の高さ

程まであるクマザサの中を進む。足下がよく見  
えないので段差や突起物に注意しながら歩く。  
振り返ると樹間越しに大きな富士山が見えて  
いて、背中を押してもらおう。

▼山頂が近くなってきたころ、鬼ヶ岳方面への  
分岐を左に分けて右に行くとすぐに山頂に飛  
び出す。我々の登頂を歓迎するかのように雄大  
な富士山が大きく高くそびえている。つらい登  
りを頑張ったご褒美で、登りの苦勞が報われた。  
中腹から上が雪で白くなった富士山と冬晴れ  
の青空とのトントラストが素晴らしい。登山口  
から山頂まで雪はまったくなかった。

▼山頂は少し風があったがそれほどの寒さで  
もなく、富士山を眺めながら遅い昼食を摂る。  
富士山を背にそれぞれのポーズで何枚も写真  
を撮る人も。眼下に西湖も見えていた。下山を  
前に集合写真を撮り、絶景を堪能しながらも後



絶景富士山とともに王岳山頂にて

ろ髪を引かれる思いで山頂を後にする。数パーティー10人に程の登山者に会う。

▼下山は石車でスリップなどしないよう慎重に、かつ足取り軽く往路を下って登山口に戻り、一日目の山行が終わる。当初の計画では「二日目に王岳」としていたが、天気予報を見て一日目に変更したのが正解だった。昨年1月に登っ

たが、天気が悪くて富士山を見ることができなかった。リベンジできてよかった

▼下山後、少し時間があつたので「西湖いやしの里根場」で、昔懐かしい茅葺き屋根群と富士山の景色を楽しんできました。その後民宿に入り、夕焼けの富士山を楽しむことができました。

\*二日目=1/12(日)曇り・・・日向坂峠 1460m～府駒山 1562m～釈迦ヶ岳 1641m 往復

▼タイム=日向坂峠登山口 9:30…府駒山 10:10…10:50 釈迦ヶ岳 11:25…府駒山 12:15…12:40 日向坂峠登山口

▼朝食前に精進湖畔へ出て富士山左側の裾からのご来光を見る。日の出前まで富士山は見えていたが、残念ながら日の出直前に富士山は雲の中に消えてしまったが、精進湖の湖面付近の荘厳な日の出はいつ見ても素晴らしい。

▼朝食を済ませ、車に荷物を積んで登山口の日向坂峠(通称ドンベイ峠)に向かう。頸城駒ヶ岳の標高と同じくらいの高さだ。峠にはゲートが閉められていて、その前に車を止める。林の中にはまばらに雪が見えている。少し風があつて寒いが、準備をして出発。

▼登山道は冬枯れとなったナラやブナの林は明るく見通しがよくて気持ちが良い。雪はなく、足を動かすたびに乾いた落ち葉の音が小気味よい。緩やかな大小のアップダウンを繰り返しながら進む。樹間越しに白い山並みが遠くに見える。最初のピークの府駒山を越える。

▼府駒山から下ってしばらくすると岩場が現れ、山頂まで続く。ロープもつけられた岩場とともに足下には部分的に凍結したところが何ヶ所も出てくる。スリップしないように慎重に歩く。場所によっては枯葉の下に凍結があつたり、右下が絶壁となっているところもある。岩場を無事にクリアして釈迦ヶ岳山頂に立つ。

▼あいにくの曇り空で、今日の富士山は雲の中。残念。天気がよければ富士山の手前に横たわる御坂山塊の上に見えるのだが…。広くない山頂の地面の上に方位盤が置かれ、小さなお地藏さん2体と石仏が安置されていて手を合わせる。

▼風はほとんどなく穏やか。楽しくにぎやかに早めの昼食を摂る。登山者は他に3人で静かな山頂だ。富士山にかかった雲は動く様子もなく、見ることもできないまま山頂を辞すことにする。またいつの日か登ることにしよう。

▼凍った岩場の下りは怖いので男性の皆さんから女性の間に入ってもらい、サポートしながら下って岩場を無事にクリア。その後は楽しい

トークをしながら気持ちよく歩いて無事に登山口に戻る。今日は曇りだったが、釈迦ヶ岳を楽しんで二日目の山行を終わる。

▼参加された皆さん、ご苦労様でした。車の提供と運転をしていただいた皆さん、ありがとうございました。《報告 by 加藤》



曇り空の釈迦ヶ岳にて